

第 603 回 役員会 議事概要

1 日 時 令和 5 年 12 月 7 日 (木) 9 時 30 分～9 時 55 分

2 場 所 Zoom 会議

3 出席者

構成員 7 名：

牛木学長，川端理事，坂本理事，澤村理事，末吉理事，西田理事，
塚本理事

陪席者 3 名：

冨田特命理事，逸見監事，(欠席：田代監事)

5 報告事項

(1) 令和 5 年度内部監査報告について

杉野監査室長から令和 5 年度内部監査報告について，資料 1 に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・教職員に様々な研修を実施していく一方で，事務DXとして，ソフトウェア上でもこういったルール違反が発生しないような仕組みを一緒に考えていけると良いと思う。現状の方法でも事務職員の労力や費用負担も生じてくると思うので，その分の資金等を活用し，ソフトウェアなどの形で具体化させるということも検討いただきたいと思う。
- ・コロナの前から言われているシンギュラリティも 2045 年よりも早く訪れると思われるので，そういう意味でも遅れをとらないように事務を含めたDXというものを注視しながら，必要に応じて資金を投入していく必要があると思う。資金がないから出来ないということではなく，こうすれば良くなるという提案から始めて，それに向けて資金をどうしていくかという目線で考えないといけない時期になっていると思う。
- ・大学の運営費交付金も減少している中で，本学のDX推進についても，民間企業並みのスタイルに移行するために動き始めているが，毎年ある程度の資金を投入しなければ動きが良くなく，来年度あたりが正念場になると思う。そうしながら乗り越えていかなければいけないので，事務職員からもこうすると良くなるといった提案をもらいながら，それをどれくらいの資金で，いつからどの順番で，何年計画で実施していくかということなどを考えていかなければならないと思う。

(2) 医歯学総合病院診療実績（令和5年10月分）について

富田特命理事から医歯学総合病院診療実績（令和5年10月分）について、資料2に基づき報告があった。

（主な意見及び質疑等）

- ・特定機能病院なので最大の医療は行わなければならないが、それを行うだけの設備や資金が足りていないという現状であることを伝えていかなければならず、大学病院でそれを行えない場合に、どこが行うのかという問題にもなると思う。一方で、全ての大学病院がそういった治療ができないのであれば、分担して治療していく必要があるが、そういうことも考えなければならない時期になってきていると思う。
- ・高額な治療薬に対する保険のような仕組みがないと、病院としてのリスクが大きいと思う。また、保険診療でその治療薬分の支払いがあるとはいえ、資金の裏付けがなければ対応ができないので、他の大学病院でも問題になっているようである。
- ・数字だけで見た場合に、運営費交付金が措置されてようやく収支が均衡しているのが今の状況である。設備投資の資金がゼロでも数年は対応できると思うが、設備投資の資金の確保が困難な状況が続くようであれば、その後の設備投資ができず、病院として機能しなくなっていくと思う。
- ・本院はこれまでの改修費用の返済が完了してきているタイミングなので、収支が均衡した状態になっていると思う。本院もあと10年程で次の改修を行わなければならないという問題を抱えているが、改修したばかりの病院はより厳しい状況になっていると思う。